

なまえとなかまわけ

～蒲郡から新発見～

名前を知るとは、相手に一歩近づくこと…

海や野山の生きもの、化石や鉱物も同じです。名前を知ることが、友だちになる第一歩。

私たちの名前に、ご先祖様から受けついでた文字や由来があるように、身近な生きものや石の名前にも、いろいろな意味や由来があります。

この秋、情報ネットワークセンター・生命の海科学館では、自然体験や講演会などを通して生きもの名前となかまわけを学ぶイベントを開催します。

とき 10/6(土) ▶ 10/8(祝) **ところ** 情報ネットワークセンター
生命の海科学館

10/6(土) イベント① 午後1時～2時
オープニング・レクチャー「カンブリア紀の生物たち
なまえとなかまわけ」
カンブリア紀の生物たちを題材に、生物のなまえとなかまわけの意味についてご紹介します。
【対象】中学生以上 60人

イベント② 午後3時～3時40分ごろ
サイエンス・トーク「隕石・化石 なまえとなかまわけ」
隕石や化石のなまえと分類のもつ意味について、展示室で標本を観察しながら解説します。
【対象】中学生以上 30人

10/7(日) イベント③-A 午前10時～11時30分
生きもの観察体験「ハンズオンで体験! なかまわけ」
海の生きものにふれながら、なかまわけにチャレンジ!
【対象】小学校4年生以上 30人(子どもだけの参加は不可)

イベント③-B 午後2時～3時30分
生きもの観察体験「さわってみましょう! 海の生きもの・分類体験会」
海の生物を観察しながら、それぞれの生物の特徴を知り、分類を体験します。
【対象】中学生以上 30人

イベント④ 午後7時30分～8時30分
イベント・レクチャー「水の中の生きものへんな名前」
生物の面白い名前、へんな名前はどややってついたの? 海の生物のいろいろな名前とその移り変わりを紹介します。
【対象】小学生以上 30人(子どもだけの参加は不可)

10/8(祝) イベント⑤ 午前10時～正午ごろ
「たいけん★化石発掘!」
～なかまわけからわかること～
化石発掘にチャレンジしてみよう!
【対象】小学校4年生以上 20人(子どもだけの参加は不可)

イベント⑥ 午後1時～2時
「若手研究者にきいてみよう!」
海に関する最先端の研究を行っている三重大大学の大学院生による研究紹介です。
【対象】どなたでも参加可能

イベント⑦ 午後2時30分～5時
メインイベント!
講演会「再発見! 身近な海のたからもの」
蒲郡周辺の海に関連した研究や、形原漁港を經由して発見された日本初種の「ヒメセミエビ」発見にまつわる講演を通して、身近な海を舞台に行われている科学研究についてご紹介します。
【対象】中学生以上 60人

講演1 「蒲郡市の貝類 ～人工干潟から遠州灘の深海の貝類まで～」
講師 元三谷水産高校教諭 木村昭一

講演2 「イセエビ・ヒメセミエビ類の分類 ～蒲郡市で水揚げされたヒメセミエビ類を中心として～」
講師 三重大学大学院生物資源学研究所 教授 関口秀夫

申し込み 【参加費】すべて無料(ただし、イベント②は、科学館の入館料が必要です)
【募集受付】9月16日(日)(必着)
電話、ファクス、ホームページの簡易電子申請にて、申し込みを受け付けます。氏名・学年または年代(中学2年生、30代など)・住所・電話番号と、参加希望のイベントの番号をお知らせください。申し込み多数の場合は抽選となります。9月30日(日)までに、お申し込みいただいた方全員へ参加の可否を連絡します。
※申し込みについては、定員のあるもの(①～⑤、⑦)についてのみ必要。⑥は不要です。
【特典】5つ以上のイベントに参加された方には、「生命の海に詳しくなっただけ賞」と記念品をプレゼントします。皆さまのご参加をお待ちしております。
【申込・問合せ】情報ネットワークセンター・生命の海科学館 ☎66♦1717 FAX66♦1817
HP(簡易電子申請) <http://www.nrc.gamagori.aichi.jp/namee/index.html>

(この企画は、独立行政法人科学技術振興機構(JST)の平成19年度地域科学技術理解増進活動推進事業機関活動支援により実施します)